

宅配で商品が届くまで②

コープ東北共同購入 チラシセットセンター (CTCC)



商品と一緒にお届けしている注文書や納品書、カタログをセットしている

コープ東北共同購入統一チラシセットセンター (CTCC) は、宮城県仙台市泉区にある、コープ東北とSBSゼンツウ株式会社協同で業務を行うコープ東北に所属している生協のチラシセットを一手に担っている施設です。「Week」や「びんず」などのチラシを印刷している凸版印刷株式会社の敷地内にあり、「運送コスト削減」と「チラシのクセ（荷姿）問題の改善の迅速」を実現しています。

2018年7月に、コープみやぎの一部のチラシセットから業務を開始し、同年9月にはコープあおもりのチラシセットを開始、東北全県のチラシセットを実現しました。現在、東北全体のチラシを一日約10万部、週に約50万部のチラシをセットしています。（コープあおもりの分は、週で約6万3千部、1日約1万3千部をセット）青森県へのチラシは、その日の一番最初にセットし、2台のトラックで正午頃には、青森県内の各センターに向けて出発します。

チラシセットの流れ

①チラシの入庫②チラシの出庫
③チェック④鞍にチラシ置き、



ちょうど、凸版印刷からの入庫がありました。端末を操作した後エレベーターにパレットを載せ、自動で所定の格納場所にチラシを入れてくれます。

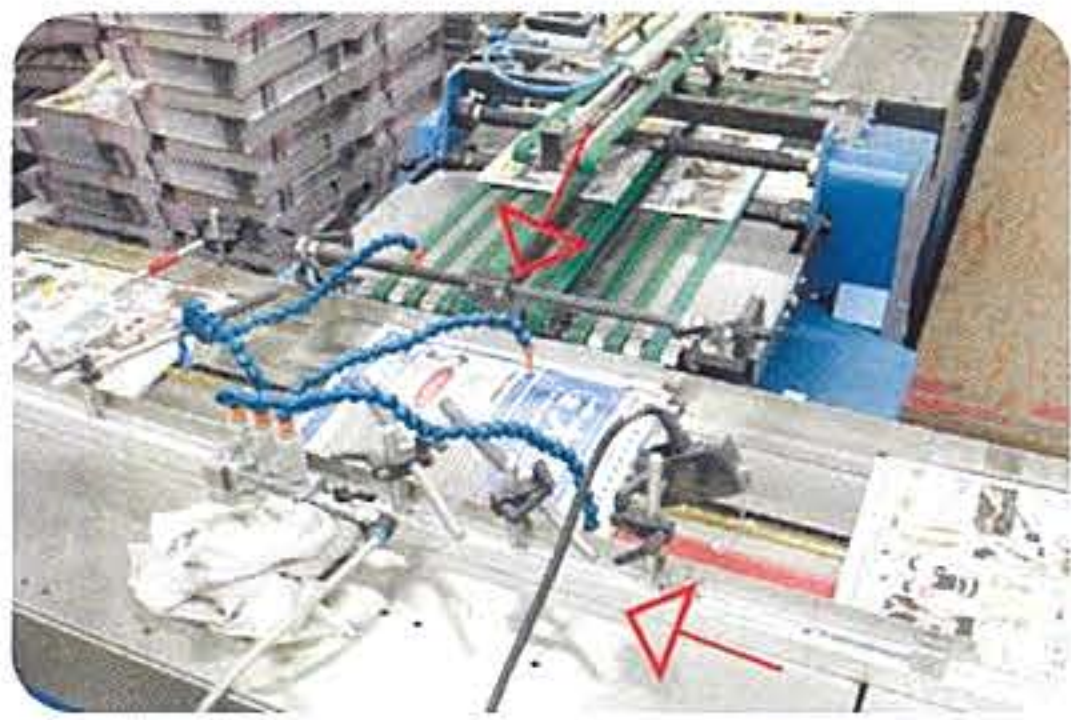
①入庫 チラシは同じ敷地内にある凸版印刷さんや生協ごとに地元の印刷屋さん等で印刷したチラシを倉庫に入れます。チラシはバーコードで管理されており、チラシごとに決まった場所へ保管されます。

ラインで流しながらセット↓⑤本線と脇線のチラシが合流↓⑥注文書をセット↓⑦納品書をセット↓⑧ビニールで包み熱で圧着し袋に包む↓⑨バンドで束ね、コースのシールを貼る↓⑩カゴ車に載せる↓⑪トラックで各県のセンターへ

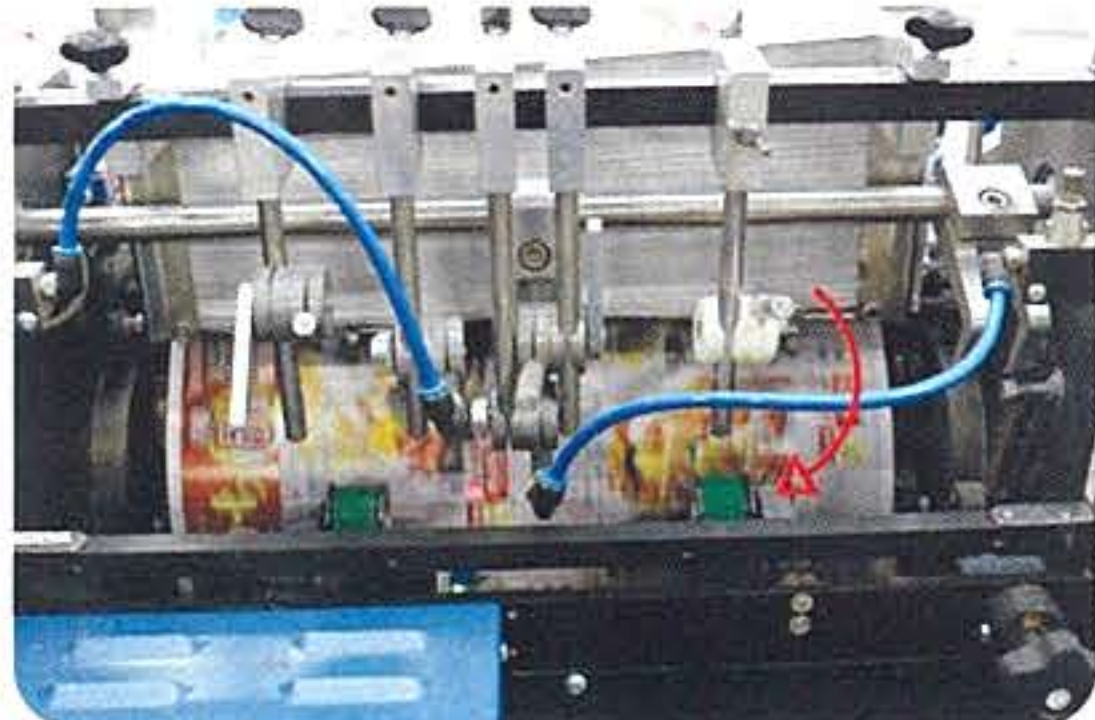


④チラシをセットする機械を丁合機と呼びます。丁合機には、重ねたチラシを流す「ライン」に「鞍」と呼ばれるチラシを一枚ずつ置く機械が配置されています。ラインは本線と脇線の2本があり、本線には23機、

②③出庫 セットするチラシは専用の端末で呼び出すエレベーターで移動し、倉庫からフォークリフトでセットする機械の側まで運びます。セットする機械にはチラシと同じものが貼ってあり、貼ってあるチラシと運び込んだチラシのバーコードをスキャンすることで、別のチラシや違う週のチラシが入ることを防いでいます。



右からきた本線に奥の脇線が合流します。なぜ、向きの違うチラシがあるのかは、脇線のチラシの向きも関係しています。下に拡大写真を掲載しています



チラシは表紙を上にして、鞍にセットされるため、ラインにのるときには、裏面が上になってセットされます。

④鞍は、チラシを一枚ずつ重ねる機械です。束でセットしたチラシを一枚だけ吸いつけて、「爪」でつかみ、ひっくり返すようにして1部ずつ重ねます。チラシは、それぞれ厚みが異なり、季節によっては湿気を含んだりするため、設定は人の手で行われます。



重ねたチラシは赤丸で囲ったバーが押していきます。バーで押したときにヨレないように「Week」などの厚みがあるチラシから重ねて行きます。

脇線には5機の鞍が設置され、最大で28アイテムのチラシをセットすることが出来ます。



カゴ車には、人の手で1束ずつ積んでいきます。この後、各県のセンターへトラックで運ばれていきます。



機械に通すと自動でバンドを巻いて固定します。空中をバンドが舞ったかと思う一瞬の内にバンドが巻かれています。

⑨⑩袋にいられたチラシを決まった数でひとまとめにして、バンドで固定します。固定後、どこで配布されるかわかるようラベルを付けて、カゴ車に積み込みます。

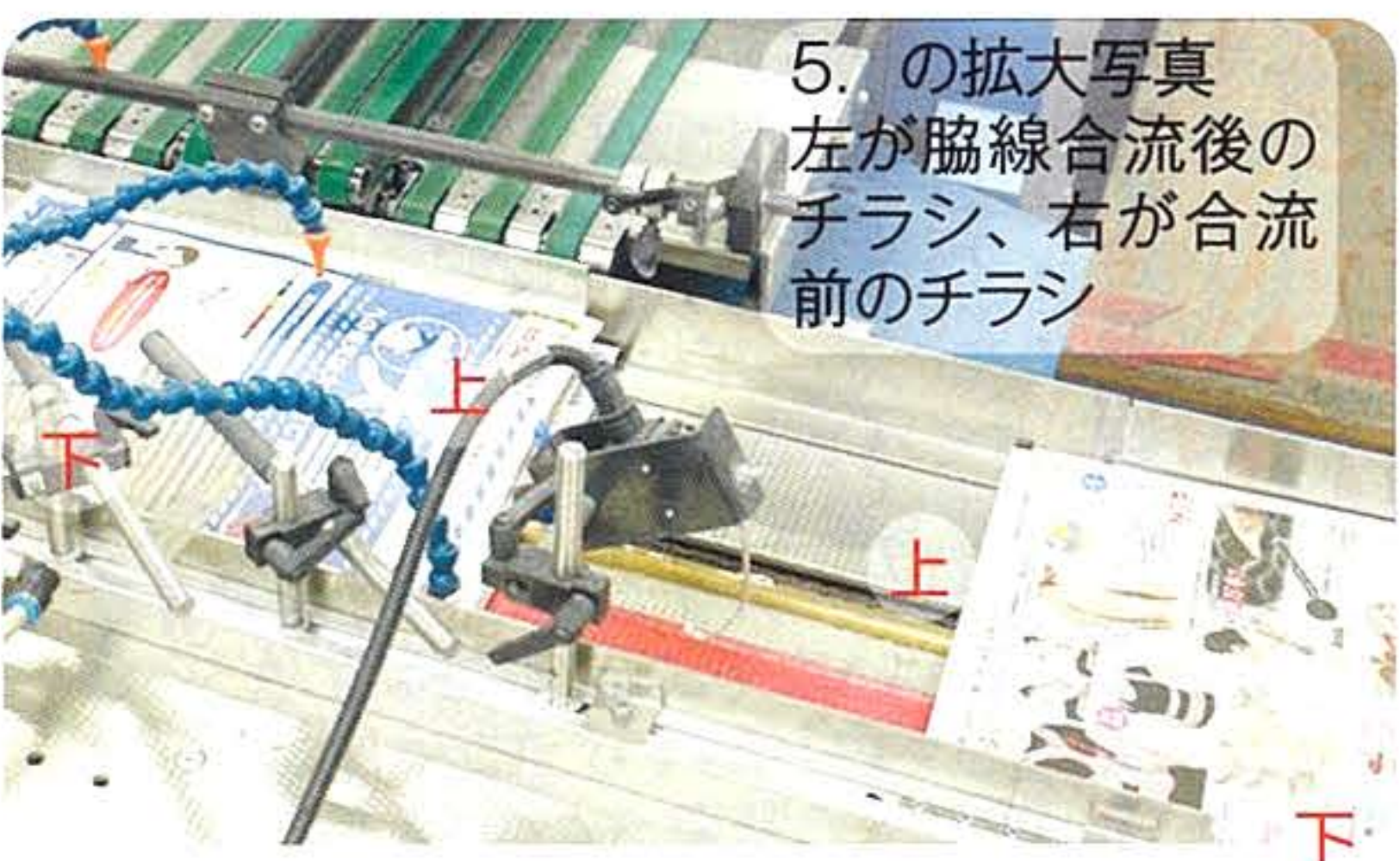
カゴ車はトラックに積みこまれ各県のセンターに送られます



徐々に間隔を狭めて、フィルムを重ねます。奥の倉庫のような形をした機械の中で圧着しています。

⑥⑦⑧チラシの束の上に、注文書、納品書を置き、ポリエチレンのフィルムで包みます。チラシをポリエチレンの上を通過させ、フィルムを両サイドから重ね合わせ筒の中にチラシがある状態、上下を熱で圧着して袋状にしています。ポリ袋は環境に配慮した有害物質を含まない高密度ポリエチレンを使用しています。

上下が異なるチラシがあるのはなぜ？



5. の拡大写真
左が脇線合流後のチラシ、右が合流前のチラシ

セットするチラシの束を鞍に載せる向きが決まっており、綴じられているチラシは綴じている方を爪でつかむため、右綴じ、左綴じで向きが異なります。（はばたきは左綴じのため、他のチラシと向きが異なります。）また、脇線で合流するチラシは鞍の向きの関係で向きが異なります。

今回は冷凍品をセットしている
コープ東北富谷冷蔵冷凍セットセンターを紹介します。

コープあおもりの組合員の皆様へ



今回取材にご協力いただいた SBS ゼンツウ株式会社第二物流加工部仙台センター長の渡辺勝幸さん（左）と CTCC センター長の佐藤博之さん（右）。

機械で全て行っているようにみえますが、意外と人が関与する部分が多く、組合員さんや職員の皆さんに迷惑が掛からないよう、これからも安全にセットに取り組めるよう取り組んでいます。

CTCC センター長 佐藤博之

現場では、きれいで正確なチラシセットを心がけています。これからもきれいにセットされたチラシを皆様にお届けできるよう努めます。

SBS ゼンツウ株式会社 渡辺勝幸